

山形県学校体育研究連合会

山形県学校体育研究連合会会長

酒井 智子（山形市立第三小学校校長）

1 本会の活動概要

（1）目的

本会は、各校種の学校体育指導者が相互に連携をはかりながら、情報交換、体育に関する研究などを推進し、もって本県学校体育の振興発展に寄与することを目的とする。

（2）組織

県小学校教育研究会体育部会、中学校教育研究会保健体育部会、高等学校教育研究会保健体育部会の会員によって構成される。

会長は3部会の理事から互選されるが、3部会の会長が輪番制で行い、他の2名が副会長となる。

事務局は、会長の教育研究部会内に置く。

役員は、顧問（歴代会長）、理事（山形大学1名、山形県教育委員会2名、山形市教育委員会1名、小中高各校種より1名）、監事（村山教育事務所1名、山形市教育委員会1名）、幹事（山形県教育委員会1名、各部会事務局代表複数名）

（3）主な事業

- ① 学校体育に関する調査・研究成果の発表※（以下に紹介）
- ② 県学校体育研究発表大会抄録作成
- ③ 加盟団体の活動援助
- ④ 学校における体育に関する研究活動の援助
- ⑤ 学校体育功労者の表彰
- ⑥ その他本連合会の目的を達成するために必要な事業

2 平成25年度「第51回山形県学校体育研究発表大会」の紹介

本大会では、小学校、中学校、高等学校の体育指導者が一同に会し、日頃の授業研究の成果を発表し合う。各校種の児童生徒の発達段階における指導に関して、あるいは教材開発について意見交換ができる貴重な場となっている。

同日午前には、「山形県の体育功労者表彰」、「記念講演会」を開催し、最新の学校体育についてもお互いに学び合っている。

本事業は51年前から継続されてきており、山形県学校体育振興・発展の中核を担ってきている。また、若い体育教師を育てる場として、今後も大切にしていきたい会である。

テーマ

「生きる力をはぐくむ体育学習を求めて」

(1) 平成25年度体育功労者表彰

小学校部会	2名	沼澤 稔氏,	村山 敏悦氏
中学校部会	1名	渡部 俊明氏	
高等学校部会	1名	伊藤 良子氏	

(2) 記念講演

演 題 「心を育てる体育を求めて」

講 師 小関 文助氏 山形県学校体育研究連合会顧問
元上山市教育委員会教育長
元山形市立第五中学校長



経験豊かな小関文助氏の講演



熱心に聞き入る小・中・高の先生方

要 旨

- * 知・徳・体全てを網羅する全人教育としての体育が、心豊かでたくましい人間の育成につながる。
- * 今、なぜ「心の教育」か。心配な子どもたちのからだと心の現状。
- * 病弱で虚弱児だった自身の体験と体育との出会い、それから歩んできた体育の道。生涯体育への熱い思い。
- * 心に残る言葉と心に残る出来事10選。

その中の1つ「鉄棒上達の秘訣は手にできた豆をほめる」

50代女性の運動が得意ではない先生が、1学期間に40人の逆上がりを成功させた。いつも子どもを見つめ、子どもに声をかけ続けた。子どものからだと心をよく知っていた。逆上がりができない子の気持ちになってほめることを心がけた結果だった。育てる楽しさを心得ている先生だった。

(3) 発表分科会

① 発表題：小学校 1 1 題，中学校 1 3 題，高等学校 7 題，合計 3 1 題

② 分科会：小中高合同 8 分科会

③ 参加者：1 7 6 名

④ 発表題例

小学校：フラッグフットボールの実践を通して 4 年生

中学校：かかわり合いを意識したダンス授業の実践 3 年生

高等学校：映像を用いた動きの確認を通し，課題解決能力を育成する指導の工夫
—球技 ソフトボールの実践— 1 年生

<分科会の様子>



<若い先生方が積極的に発表していることが嬉しい！>



(4) 実践事例 <別添参照> 米沢市立南部小学校の事例